

初刷に誤りがございました。謹んでお詫び申し上げます。ここに訂正いたします。(2021年10月10日、10月18日、11月18日、12月21日、2022年2月7日、3月28日追加)

## 訂正表

初刷(9月20日刊行)の修正点

### ●本文

#### 43頁6行目

(誤) ミルクティー(「奶茶」)

↓

(正) 乳茶(バター茶)

#### 51頁8行目

(誤) 清朝宮廷の伝統的な食事とは異なる「素食」(菜食)には、強い抵抗があった。

↓

(正) 清朝宮廷の伝統的な食事とは異なる完全な「素食」(菜食)化には抵抗があった。

#### 53頁15行目

(誤) 上海の学者・姚廷遴

↓

(正) 上海の知識人・姚廷遴

#### 108頁6行目

(誤) 北京の翰林院(詔勅などの文章を起草する官庁)の役人になると

↓

(正) 北京の翰林院(将来重用する若手エリート官僚を集めておく機関)に属すと

#### 114頁見出し

(誤) 「中菜中吃」

↓

(正) 「中菜西吃」

### 134 頁 10 行目

(誤) 二〇〇六、〇八、一一年

↓

(正) 二〇〇六、〇八、一一、一四、二一年

### 146 頁 7～8 行目

(誤) しかし、清の康熙帝(第四代皇帝)や乾隆帝は、巡幸で曲阜の孔廟(孔子を祀った廟)を訪れていたが、「孔府菜」なるものを食べていたとは考えづらい。

↓

(正) **ただし**、清の康熙帝(第四代皇帝)や乾隆帝は、巡幸で曲阜の孔廟(孔子を祀った廟)を訪れても、**宮中のコックを引き連れていたので、孔府の料理を食べることは少なかった。**

### 164 頁 8 行目

(誤) 内省人

↓

(正) **本省人**

### 212 頁 19 行目

(誤) アイスカサン

↓

(正) アイスカ**チャン**

### 262 頁 16 行目

(誤) 「バインテット (bánh tét, 餅越)」

↓

(正) 「バインテット (bánh tét, 餅**節**)」

### 265 頁 19 行目～266 頁 1 行目

(誤) タークシン王のトンブリー朝は、バンコクを新都とした。バンコクのタチャン地区の王宮の前には、

↓

(正) タークシン王は、**トンブリー(現・バンコク都内)**を新都とした。**そしてバンコクのターチャン地区には、**

### 266 頁 17 行目

(誤) ラタナコーシン朝は、ひきつづきバンコクを首都とし、

↓  
(正) ラタナコーシン朝は、**トンブリーの対岸**のバンコクを首都とし、

### 325 頁 12～13 行目

(誤) 「熟手」たちも独立して料理屋を始め、そのなかの一つの「明月館」(一九〇九年創業)

↓  
(正) 「熟手」たちも独立して**民間で料理業に従事し**、そのなかの一つと**考えられる**「明月館」(一九〇**三**年創業)

### 353 頁 3～4 行目

(誤) 一九〇七～八年頃、仁川の山東会館の食堂のメニューとして出され始めたと考えられている。

↓  
(正) 一九〇七～八年頃**には**、仁川の山東会館の食堂のメニューとして出されていた**ようである**。

### 369 頁 3～4 行目

(誤) 一八三〇年前後からおよそ一〇〇年間に出国した華人の総数は約一〇〇〇万人、その大半が労働移民であり、帰国者を除いた各国への純流入者は三〇〇万人余りと推計される。

↓  
(正) **一八九一～一九三八年に東南アジアに流入した華人は一四〇〇万人以上、その大半が労働者で八割以上は帰国したが、一九三〇年代半ばに約六二〇万人の華人が東南アジアに居住したと推計される。**

### 465 頁 16 行目

(誤) ルクセンブルクや首都・アントワープの

↓  
(正) **ベルギーのアントウェルペン、そしてルクセンブルクの**

### 487 頁 1 行目

(誤) 在ペルー清国大使館

↓  
(正) 在ペルー清国**公**使館

516 頁 14 行目「アメリカ人医師の依頼であった。」の後に以下の一文を追加

また、くわえて注目すべきことに、上海近郊の南通代用師範学校の木工組の生徒が、一九一六年度に「旋轉圓桌」(回転円卓)を製作・販売したという記録がある(『申報』一九一七年九月七日一一版「中華職業教育社通訊」)。

530 頁 1 行目

(誤) 明国の首都である

↓

(正) 明国の初期の首都である

532 頁見出し

(誤) ③ラーメンの語源——「鹵麵」と「好了」

↓

(正) ③ラーメンの語源——「柳麵」と「好了」

532 頁 6 行目

(誤) 広東系の餡かけ麵である「鹵麵 (ルウメン)」であるとする説が有力である

↓

(正) 広東系の細い汁麵である「柳麵 (ラウミン)」であるとする説が有力である

## ●主要参考文献

22 頁左段 19 行目

(誤) 董竹君『我的一个人生』

↓

(正) 董竹君『我的一个世紀』

35 頁左段 13 行目

(誤) 金括

↓

(正) 金恬

## ●註

57 頁左段「(1) 外村 (2003: 10-13, 19, 26) ; 佐々木 (2009: 204) ; Cwiertka (2006: 138-155; 2012: 33-43)」の最後に以下を追加

; 主 (2013: 174)

59 頁左段 「(4) 斯波 (1995: 123-126) ; 蘭 (2013)」の後に以下の一文を追加  
; 杉原薫「華僑の移民ネットワークと東南アジア経済—19 世紀末～1930 年代を中心に」、溝  
口雄三他編『アジアから考える 6 長期社会変動』東京大学出版会, 1994 年, 163～195  
頁。

#### 62 頁右段

(誤) (13) Chan (2016: 27)

↓

(正) (13) Chan (2016)

#### 66 頁左段

(誤) (11) 安藤・奥村 (2017: 264-267)

↓

(正) (11) 近代食文化研究会『お好み焼きの戦前史』第二版 (Kindle 版, 2018 年)

#### ●索引 (赤字のページに訂正)

1 頁 アイゼンハワー (ドワイト・D) 405

2 頁 オイスターオムレツ 205, 238

3 頁 カレー 101-102, 150, 197, 199, 203-206, 215, 218-220, 225-226, 228-229, 248, 266,  
277, 283-285, 320-321, 361, 429, 447, 480, 491, 510, 540  
カレーラクサ 235, 479-481, 495

11 頁 フカヒレ 21, 22, 47-48, 54, 56, 70-71, 84, 96-97, 101-103, 106-107, 110, 112-114,  
122-123, 125, 129-130, 132-133, 150, 155-156, 169-170, 172-173, 238, 243, 270-  
271, 376, 415, 423, 436, 522, 535, 549-550

以上